

銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*メール配信をご希望の方はお知らせください*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

家にいながらほしいものが何でも手に入る今、街を訪れる楽しみとはどのようなものでしょうか。商業都市銀座では、銀座に来ないと得られない時間や体験を創造し、発信し続けることが商業の発展の鍵になります。そのため、歩行者天国や数寄屋橋公園のような公共空間を使い、銀座ならではの

の体験が得られる場所を増やしたいと考えています。休憩スペースにもなる公共空間が魅力的になることは、来街者の滞在時間を増やし、消費活動にもつながるでしょう。いつも楽しくて新しい銀座であり続けるために、銀座はより良い公共空間のあり方を模索してまいります。

オータムギンザ2017

第6回「新富座こども歌舞伎」泰明小学校公演 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

今年も秋の銀座の一大イベント、オータムギンザが開催されました。銀座街づくり会議ではその期間中の11月3日（金祝）、泰明小学校校庭にて「新富座こども歌舞伎」公演を開催しました。演目は、舞踊「元禄花見踊」、芝居「菅原伝授手習鑑吉田社頭車引の場」。秋の晴天の日、中央区立小学校に通うこどもたち総勢13名が演じる本格的な歌舞伎が、大勢の来場者を魅了しました。

「新富座こども歌舞伎」泰明小学校公演は、銀座と銀座周辺の和の文化を国内外のお客様に気軽に楽しんでほしいという思いから始まり、今年で6回目を迎えました。午後1回公演で、1,000名近くのお客様が来場され、たいへん盛況な会となったことから、秋の恒例行事として定着してきたの

ではないかと手応えを感じています。

昨年に続いて、当日の特別ゲストとして歌舞伎俳優の中村扇雀丈をお迎えしました。こどもたちの真剣な芝居に大変感銘を受けられている様子でした。公演後は、こどもたちへの励ましをいただいたり、写真撮影にもご参加いただき、こどもたちにも忘れられない貴重な体験となりました。

会場となった泰明小学校に隣接する数寄屋橋公園では、新富座こども歌舞伎によるお練りと口上を行い、公園に居合わせた方々にも銀座のイベントを楽しんでいただくことができました。また、キッチンカーによるお弁当の販売や、郵便局のお手紙イベントも公園で実施しました。数寄屋橋公園を今後も積極的に活用していきます。



LONG LIFE
DESIGN 2017

銀座通り歩行者天国がグッドデザイン賞を受賞!

受賞団体：一般社団法人銀座通連合会/警視庁築地警察署

Gマークでおなじみの2017年度のグッドデザイン賞で、銀座通りの歩行者天国がロングライフデザイン賞（長年にわたり高い支持を得て、今後もその価値を発揮し続けるであろうデザインを顕彰するもの）を受賞しました。歩行者天国の実現には、築地警察署による信号調整、また銀座通連合会によるバリケードやベンチ・パラソルの設置、見回り活動等、官民協働が欠かせません。地域と行政が連携して、銀座を安心・快適に散策できる仕組みを40数余年継続してきた活動が評価されました。

歩行者天国は1970年より始まり、今では銀座のシンボルとしてなくてはならない存在となってい

ます。近年では、世界的な都市で歩行者中心の公共空間活用の動きが高まっていますが、銀座の歩行者天国はまさにその先駆けとも言えます。平日は車両が占有している道路を、休日に歩行者に開放することで、人々がゆったりと街を歩き、時間を過ごす空間が創出され、歩行者中心のまちづくりの基礎となりました。そして、長い歴史を通して銀座通りの「ホコ天」は暮らしの中に浸透し、銀座の魅力のひとつとして定着してまいりました。

今後も行政の協力を得ながら、銀座のシンボルである歩行者天国を守っていくとともに、この受賞が、銀座地域全体のさらなる公共空間活用の動きにつながっていくことを願っています。